

●株主の皆様へ●

第57期 第2四半期報告書

2016年3月1日▶2016年8月31日

Plenus

証券コード：9945

株式会社プレナス



代表取締役社長 塩井 辰男

■ 2017年2月期第2四半期 連結業績サマリー

売上高	712 億円	前年同期比 △2.5%
売上原価	323 億円	前年同期比 △2.3%
売上総利益	388 億円	前年同期比 △2.7%
販売費及び一般管理費	359 億円	前年同期比 △2.6%
営業利益	29 億円	前年同期比 △4.4%
経常利益	30 億円	前年同期比 △6.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14 億円	前年同期比 △19.2%
国内グループ店舗数	2,992 店舗	前期末比 △24 店

■ 2017年2月期 連結業績予想

通期の連結業績は、売上高1,428億円（前期比2.1%減）、営業利益75億円（15.6%増）、経常利益78億円（16.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益43億円（18.4%増）と予想しております。

（※売上高については、2016年4月に公表した予想から修正しております。）

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの第57期（2017年2月期）上半期の業績と主な取り組みについてご報告いたします。

上半期の経営概況と業績

上半期における外食産業は、個人消費の回復に足踏みが見られる中、労働力不足による人件費の上昇等から、引き続き厳しい事業環境が続きました。

こうした状況の中、上半期においては売上の回復と損益構造の改革に注力してまいりました。

売上回復策として、ターゲット層に合わせた特徴ある商品や地域メニューの発売、キャンペーンの実施により、お客様の来店を促進しました。

損益構造の改革につきましては、人件費の上昇等の外部環境に対応するため、前期より継続して取り組んでおります。この上半期は、広告宣伝費等のコストの効率化、不採算店舗の早期退店、改装・移転等による店舗の収益力強化に注力いたしました。

また「ほっともっと事業」「やよい軒事業」で「ユニットFC制度」を活用したフランチャイズ展開を進め、事業基盤のさらなる強化を図りました。

しかしながら、上半期の連結業績につきましては、既存店売上が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で、減収となりました。営業利益は、仕入れコストの改善や広告宣伝費等のコストの効率化が利益に寄与しましたが、既存店売上の減少や人件費の上昇等の影響をカバーできず、減益となり

ました。なお、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述の影響に加え、税制改正等による法人税等の増加により、前年同期実績を下回りました。

今後の取り組みについて

下半期以降の重点施策としましては、お客様の多様なニーズを商品開発・販売促進活動に活かせるようマーケティング戦略を強化し、「ほっともっと事業」の売上高の回復を図ります。同時に、生産性を向上させた新しい店舗タイプでの出店を進め、市場シェアの獲得を目指すとともに、これまで取り組んできた損益構造改革を一層進めてまいります。

変化し続ける環境に対応し、持続的に成長していくために、当社は中長期的な成長戦略である「新規出店の推進」

と「店舗収益力の向上」を基本に置きながら、前述の取り組みに注力してまいります。

配当金について

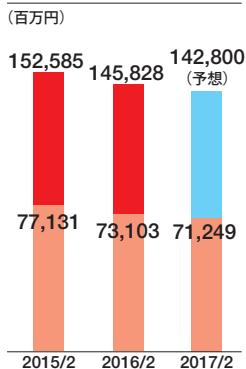
当社は、1株当たり年間配当60円または、年間配当性向50%を達成する金額のいずれか高い額をお支払いすることを、配当の基本方針としております。

これに基づき、当期の中間配当金につきましては、1株当たり30円とさせていただきます。なお、2017年2月期の年間配当は60円を予想しております。

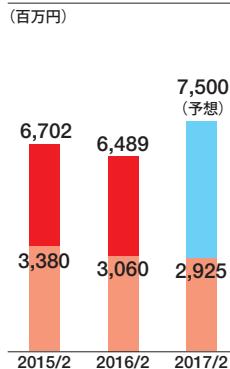
株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結業績の推移

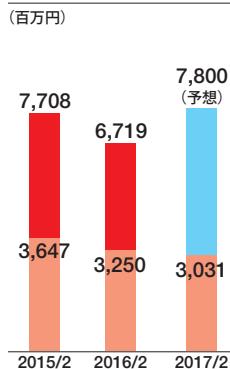
売上高



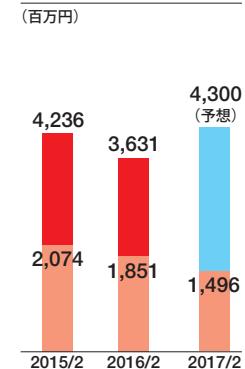
営業利益



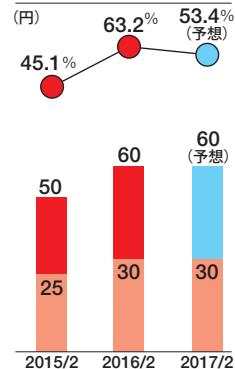
経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



配当金・配当性向



事業別の概況

売上構成比

76.8%

ほっともっと事業

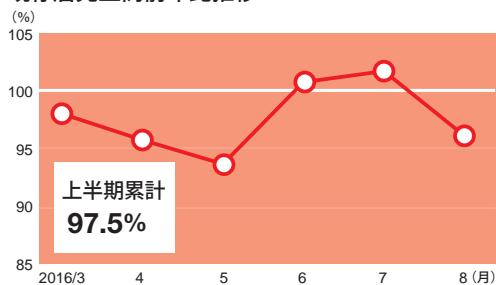
つくりたてのあたたかいお弁当を販売する「ほっともっと」を全国で展開しています。持ち帰り弁当のトップブランドとして、おいしいごはんにこだわり厳選した高品質の国産米を使用し、店内調理によるできたてのお弁当を提供しています。



2017年2月期 第2四半期 実績	前年同期比	
売上高	546億92百万円	△4.7%
営業利益	23億29百万円	+11.7%
国内店舗数		
出店数	39店	+4
退店数	77店	+12
期末店舗数	2,651店	△47

※「BizLunch」13店舗含む

既存店売上高前年比推移



■ 上半期の状況

ほっともっとの強みである“店内調理による手づくり”の特長を活かしつつ、上半期は日本各地にある食文化や地域の特色を打ち出した『ご当地弁当』や、曜日ごとにメニューが替わる、豊富なおかずでお得な『日替わりランチ』等を発売し、幅広いお客様のニーズへの対応を図りました。

また、子どもに人気のキャラクターとタイアップしたキャンペーンや、特設 web サイト上で楽しみいただけるキャンペーン“お弁当だらけの博覧会「ベンパク」”を開催し、お客様の来店頻度の向上を図りました。そして前期より推し進めている損益構造の改革を引き続き行い、広告宣伝費等のコストの効率化や不採算店舗の早期退店、改装・移転による店舗の収益力強化にも注力しました。

店舗展開については、ほっともっとの新規出店を27店舗、昨年創設した都市型の持ち帰り弁当店「BizLunch (ビズランチ)」の新規出店を12店舗行いました。退店は77店舗行い、店舗数は本年8月末で46都道府県で2,651店舗となりました。フランチャイズ展開も引き続き推進しており、「ユニットFC制度」を活用して新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化を進めた結果、ユニットFCの店舗数は前期末816店舗から本年8月末で888店舗と着実に増加しております。

〔国内店舗数と全店売上高の推移〕



上半期の業績につきましては、売上高は既存店売上高が前年実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことにより、前年同期実績を下回りました。しかしながら営業利益は、既存店売上高が減少したものの、前期より取り組んでいる損益構造の改革の成果もあり、前年同期実績を上回りました。

注) 直営店を加盟店に移管することにより、当社の売上高は、店頭売上高ではなく、加盟店に対する食材・包装等資材の販売金額やロイヤリティ等の収入が対象となるため、減少します。

■ 今後の取り組みについて

競争激化や人件費の上昇等、とりまく環境の変化に対応し、継続的な売上成長を維持していく為、下半期以降、以下の3つの戦略を柱とし、市場シェアの獲得及び店舗力の向上を目指してまいります。

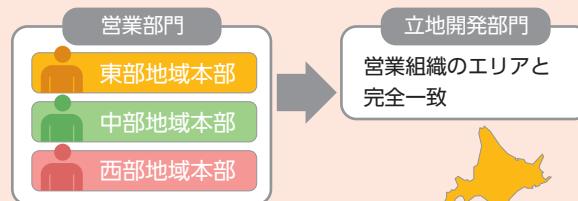
① マーケティング戦略：

多様な顧客ニーズに対応するため、顧客情報をこれまで以上に活用し、商品開発・販売促進活動の強化を図ります。

〔加盟店舗数(ユニットFC店舗数含む)の推移〕



ユニットFC制度スタート



営業部門と立地開発部門の連携を強化し、効率的な出店を推進していきます。

より高精度な仮説検証を行い、顧客の来店頻度を向上させていきます。

② 出店戦略：

生産性の高い新タイプ店舗を導入し、出店を加速していきます。また組織変更により、営業部門と立地開発部門の連携を強化し、効率的な出店を推進し、市場シェアの拡大を図ります。(ほっともっとの新タイプ店舗は8頁参照)

③ 人財戦略：

労働人口減少等の環境の変化に対応するため、クルーの採用から育成・役割・処遇などを抜本的に見直し、定着率の向上を図ることで、地域に根付いた強い店舗を作っていきます。

これらの戦略を今後進めていながら、これまで取り組んできた「損益構造の改革」やユニットFCの推進による「フランチャイズ展開の拡大」も継続し、さらなる成長を目指してまいります。

事業別の概況

売上構成比

20.8%

やよい軒事業

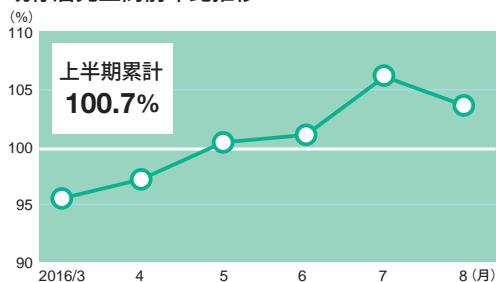
日本人の主食である炊きたてのごはんを中心に、みそ汁、そしておかずと副菜などを一つのお膳にバランス良くまとめた『定食』を提供しています。

「やよい軒」は、そんな日本の食の知恵が詰まった『定食』をもっと多くの人々に広げるために、「YAYOI」として世界に展開していきます。



2017年2月期 第2四半期 実績		前年同期比
売上高	148億63百万円	+6.1%
営業利益	5億17百万円	△42.8%
国内店舗数		
出店数	16店	+7
退店数	3店	+3
期末店舗数	310店	+27

既存店売上高前年比推移



■ 上半期の状況

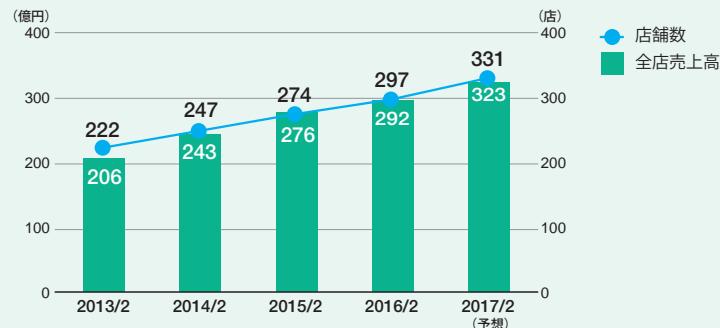
素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、季節感や郷土性を取り入れたメニューや、ボリューム感あるメニューを多彩に取り揃え、他店との差別化を図りました。

また、「やよい軒」の原点である西洋料理店「彌生軒」の誕生から130年を記念して『ハヤシライス』を発売する等、幅広いお客様のニーズへの対応を図りました。

店舗展開については、北海道・長野県への初出店を含め、国内で16店舗出店し、事業エリアの拡大を図りました。退店は3店舗行い、店舗数は本年8月末で35都道府県で310店舗となりました。

また、「ユニットFC制度」を活用した新規オーナーの募集と既存オーナーの多店舗化に注力し、ユニットFCの店舗数は、前期末の52店舗から当年8月末で63店舗となりました。上半期の業績につきましては、売上高は新規出店により店舗数が増加したことと既存店売上高が増加したことにより前年同期実績を上回りました。営業利益は、広告宣伝費の増加や人件費の上昇等により、前年同期実績を下回りました。

〔国内店舗数と全店売上高の推移〕



■ 今後の取り組みについて

商品施策については、既存のお客様に加え、女性やシニア、ファミリーなど、ターゲット層に向けたメニューを強化することで、客層を拡大していきます。また引き続き、季節感や郷土性を取り入れたメニューも投入し、より顧客満足を高めてまいります。

店舗展開については、国内の未出店エリアへの新規出店と、既存エリアの出店を並行して推進し、次のステップである500店舗体制を目指してまいります。

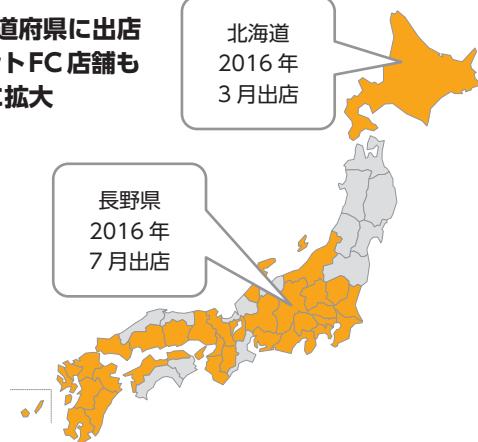
また、「ユニットFC制度」を活用したフランチャイズ展開につきましても、引き続き新規オーナーの獲得に注力するとともに、既存オーナーの多店舗化を進めていき「新規出店の推進」と「フランチャイズ展開の拡大」により事業基盤の一層の強化を図ってまいります。



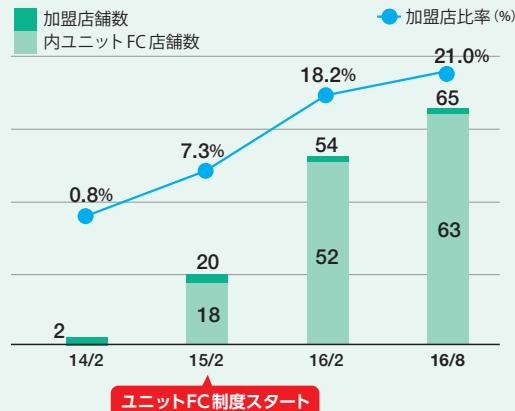
引き続きイメージキャラクターに、女優の多部未華子さんを起用しました。今回は暑い夏にぴったりの厚切りカルビ焼肉の魅力をもっとPRしていただきました。『スペシャルグ릴定食』を勢いよく味わう姿と、多部さんが心の中で葛藤する姿とのコントラストを描いた内容となっております。

— 国内の店舗網も順調に拡大 —

35 都道府県に出店
ユニットFC店舗も
順調に拡大



〔加盟店舗数（ユニットFC店舗数含む）の推移〕



事業別の概況

売上構成比

2.4%

MKレストラン事業

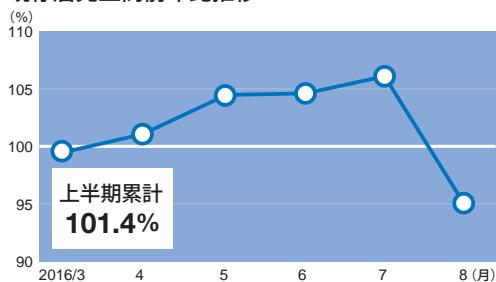
「MKレストラン」は、豊富な具材と個性豊かなスープの組み合わせで、新しい美味しさを何度でも味わえるこだわりのしゃぶしゃぶと本格飲茶を提供するレストランです。

充実の食べ放題コースの他に、気軽に食べられるセットメニューやランチメニューもご用意しています。



2017年2月期 第2四半期 実績	前年同期比	
売上高	16億93百万円	△0.4%
営業利益	1億25百万円	△11.7%
国内店舗数		
出店数	1店	+1
退店数	0店	△1
期末店舗数	31店	+1

既存店売上高前年比推移



■ 当期の業績について

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶと、本格飲茶やランチセットに加え、昨年より寿司食べ放題を導入するなど、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。お客さまにMKのしゃぶしゃぶをより楽しんでいただけるよう、季節限定の特選具材や限定鍋スープなどを取り入れました。

店舗展開につきましては、本年6月に東京都内に「御徒町店」をオープンいたしました。今後も都市圏を中心に事業展開エリアを広げてまいります。

当期の業績につきましては、既存店売上高が増加しましたが、熊本地震の影響による一部店舗の休業等が要因で、減収となりました。営業利益は既存店売上高は増加したものの、イニシャルコストの増加や人件費の上昇等により減益となりました。

6/20(月) 御徒町店オープン

住所：東京都台東区上野 3-27-1
十仁タワー 4階

営業時間：11:00～23:00
(ランチタイム11:00～15:00 ※土日祝を除く)

TEL：03-5816-2210





Hotto Motto
ほっともっと

最新型の「ほっともっと」

「ほっともっと」は店舗ごとに備えたキッチンで「煮る」「炒める」「揚げる」そしてごはんを「炊く」など、出来立てのお弁当を提供できることが強みです。

最新型の店舗では、その場で調理や提供ができ、手づくりによる安心感をお届けできる、オープンキッチンを採用しました。店内調理のライブ感と店内空間の広がり 연출し、居心地の良さにこだわりました。

<外観>

親しみやすい
木目を基調



<内装>

デジタルサイネージで
分かりやすく情報を伝える



<看板>

ほっともっとの
ロゴを洗練させ、
視認性を高める



<店内>

オープンキッチンによる
店内調理のライブ感と安心感

<キッチン>

設備の配置などを見直し
効率化を図る

ホームページをリニューアルしました

2016年7月に当社ホームページを全面リニューアルしました。

当社事業のグローバルな展開を表現し、スマートフォン・タブレットからもストレス無く閲覧できるよう改良いたしました。是非ご覧ください。

<https://www.plenus.co.jp/>

プレナス

検索

ニュースリリース
はこちら

トップページ



IR 情報ページ



トピックス



Hotto Motto
ほっともっと

店内調理の特長を活かしつつ、
特徴ある商品を提供

「ほっともっと」は、“店内調理による手づくり”を特長とした商品を提供することで、競合店との差別化を図っています。人気 NO.1 の“のり弁当”のボリュームを通常の 1.5 倍に増量した『BIG のり弁当』や曜日ごとにメニューが変わる、豊富なおかずでお得な『日替わりランチ』等、ターゲット層に合わせた特徴ある商品を提供しました。

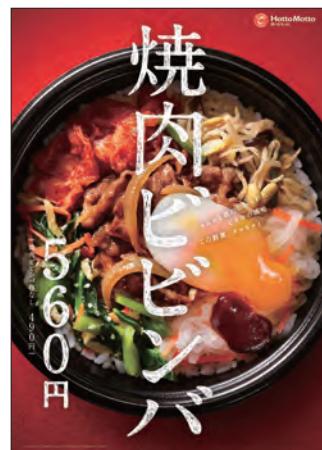
最強ボリューム
『BIG のり弁当』

3月1日 新発売



さあ、魅惑のピリ辛体験へ
『焼肉ビビンバ』

6月1日 発売



2016年

3月・4月

5月・6月

YAYOI

JAPANESE TEISHOKU RESTAURANT

“季節感”や“郷土性”を取り入れた
多彩なメニューを提供

「やよい軒」は、日本人の主食である炊きたてのごはんを中心に、素材や手づくり感にこだわりながら、みそ汁、おかず、副菜等を一つのお膳にバランスよくまとめた『定食』を、お手頃な価格で提供しています。

『ゴーヤーちゃんぶる一定食』等の季節感や郷土性を取り入れた商品や、『たっぷり野菜の肉野菜炒め定食』、4種のラインナップを揃えた厚切りカルビ焼肉など、幅広いお客様のニーズへの対応を図りました。

国産野菜 360g 使用
『たっぷり野菜の肉野菜炒め定食』

3月3日 発売



沖縄名物を「やよい軒」で
『ゴーヤーちゃんぶる一定食』

6月21日 発売



やよい軒
CLOSE UP

曜日ごとに替わる新メニュー
『日替わりランチ』

7月4日より平日限定販売



7月・8月

夏だ！肉だ！カルビだ！
選べる4つの厚切りカルビ焼肉

7月15日 発売



始まりは明治時代

『ハヤシライス』『ミカドソース』

「やよい軒」の原点は、明治19年(1886年)に開業した西洋料理店「彌生軒」です。その誕生から130年を記念して、明治時代に生まれた『ハヤシライス』850円(税込)を、7月1日より数量限定で発売しました。

また「やよい軒」の『ロースとんかつ定食』等の“かつ”定食をご注文いただいたお客様には、通常のフライソースに加え、明治時代に日本で初めて作られたソース『ミカドソース』*をご提供し、明治の味を体験していただけます。

「やよい軒」もハヤシライスも起源は明治時代



甞る明治の味を体験。

やよい軒の“かつ”を、日本最初のソース「ミカドソース」で。

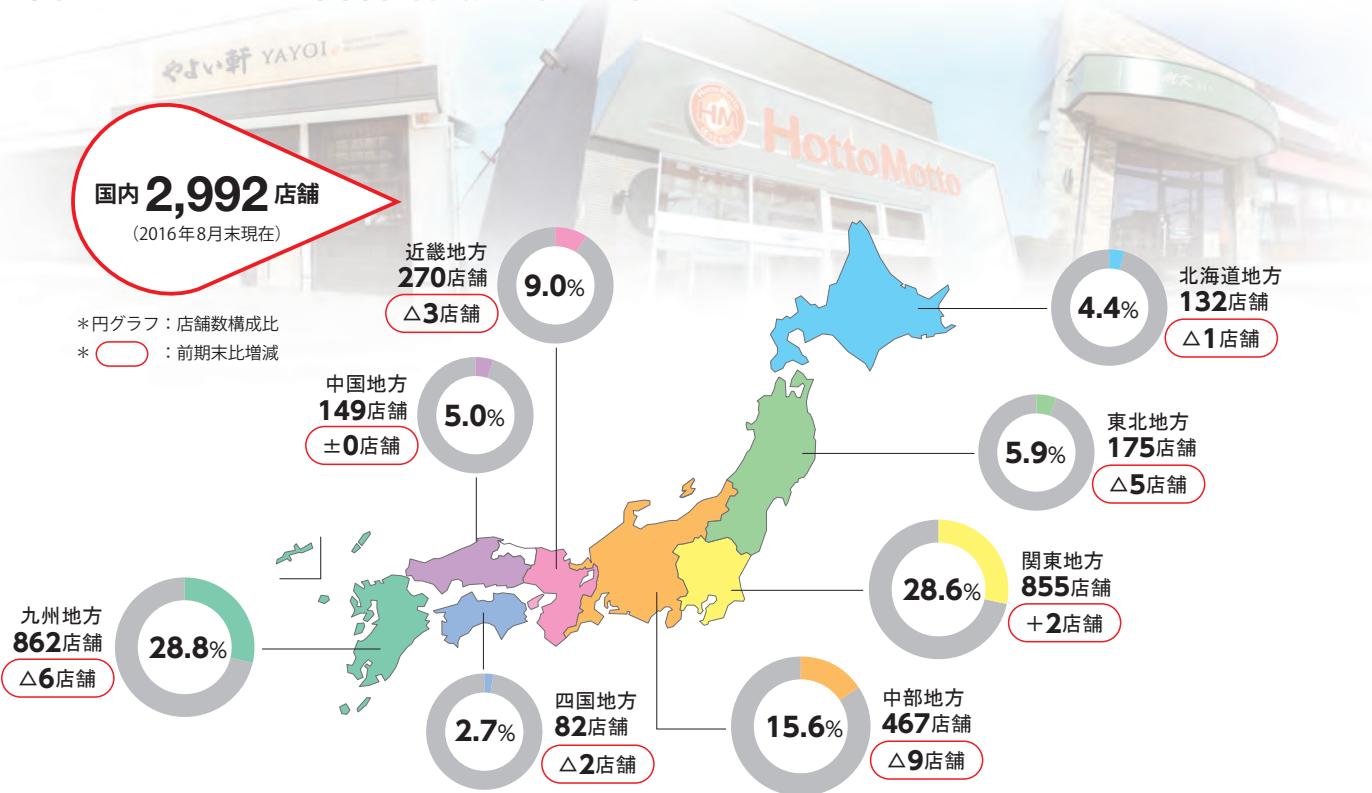
日本で初めて作られた「ミカドソース」は明治時代に創業したやよい軒の前身が「ミカドソース」です。元々はかつ定食や「ロースとんかつ定食」や「とんかつ定食」のソースとして開発された「ミカドソース」は、その後、様々な料理に活用されるようになりました。現在は「ミカドソース」は、やよい軒の「ミカドソース」だけでなく、他の「ミカドソース」でも販売されています。

対象商品



*ヤマサ醤油株式会社が明治18年に日本最初のソースを業界に先駆けて発明し特許を出願特許第53号
※「ミカドソース」の「ミカド」はヤマサ醤油株式会社の登録商標です(商標登録第5654926号)

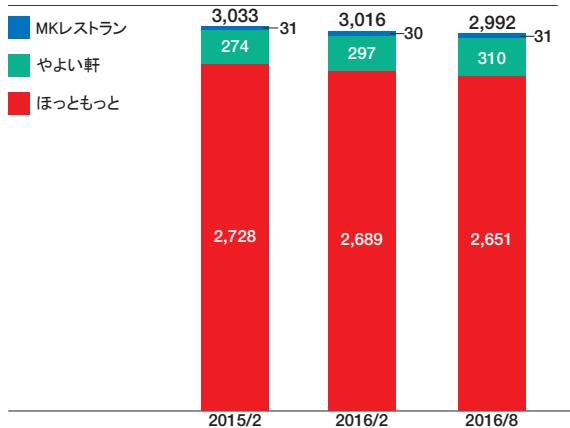
当社グループの国内店舗展開の状況



ブランド別・エリア別店舗数 (2016年8月末現在)

	ほっともっと	やよい軒	MKレストラン	エリア別合計
北海道地方	129	3	0	132
東北地方	175	0	0	175
関東地方	732	121	2	855
中部地方	441	26	0	467
近畿地方	193	77	0	270
中国地方	124	24	1	149
四国地方	79	3	0	82
九州地方	778	56	28	862
ブランド別合計	2,651	310	31	2,992

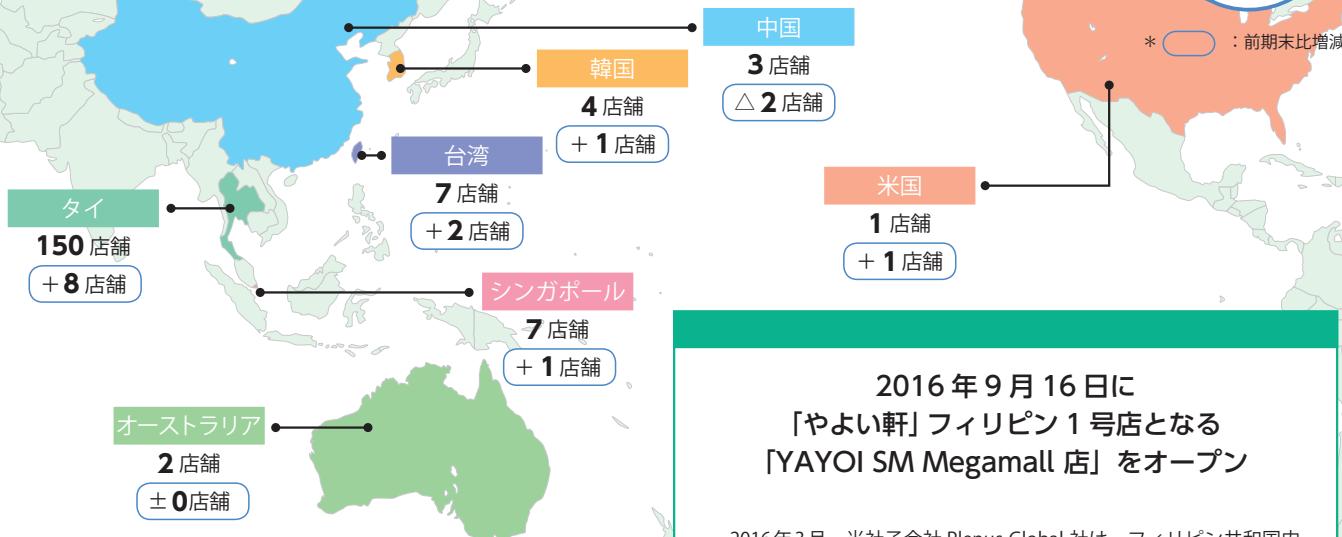
ブランド別店舗数の推移



※ほっともっと店舗には、都市型の持ち帰り弁当店「BizLunch(ビズランチ)」13店舗を含みます。

日本の食文化を世界へ。 つくりたてでおいしく、安心安全な食事を提供します。

日本のおいしい食をもっと多くの皆様に提供するために、海外への展開を積極的に行っています。世界のみなさんに「つくりたてのおいしい食」、「お客様に満足していただけるサービス」をお届けいたします。



ブランド別・エリア別店舗数 (2016年8月末現在)

	初出店 時期	ブランド		エリア別 合計
		ほっともっと	やよい軒	
タイ	2006年	0	150	150
中国	2010年	3	0	3
シンガポール	2011年	0	7	7
韓国	2012年	4	0	4
オーストラリア	2014年	0	2	2
台湾	2014年	0	7	7
米国	2016年	0	1	1
ブランド別合計		7	167	174

2016年9月16日に 「やよい軒」フィリピン1号店となる 「YAYOI SM Megamall 店」をオープン

2016年3月、当社子会社 Plenus Global 社は、フィリピン共和国内における「やよい軒 (YAYOI)」のエリアフランチャイズ契約を現地法人「TEISHOKU DINING CONCEPTS Inc.」と締結しました。そしてこの度1号店をオープンし、好調なスタートを切ることができました。

当社がこれまで培ってきたブランドノウハウを活かし、フィリピンの皆様につくりたてのおいしい食事とお客様に満足していただけるサービスをお届けいたします。



財務データ

■ 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	71,249	△ 1,853 (△ 2.5%)
売上原価	32,366	△ 758 (△ 2.3%)
売上総利益	38,883	△ 1,095 (△ 2.7%)
販売費及び 一般管理費	35,958	△ 960 (△ 2.6%)
営業利益	2,925	△ 134 (△ 4.4%)
経常利益	3,031	△ 218 (△ 6.7%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,496	△ 355 (△ 19.2%)

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 会計期間	前期末比
流動資産	32,486	△ 1,934
固定資産	56,088	930
負債	23,900	△ 1,299
純資産	64,675	295
総資産	88,575	△ 1,004

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	5,046	871
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,627	582
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,151	△ 185
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 13	△ 41
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	△ 746	1,226
現金及び現金同等物 の期首残高	15,827	△ 722
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	136	—
現金及び現金同等物 の四半期末残高	15,216	640

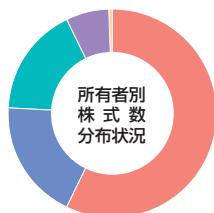
■ 会社概要 (2016年8月31日現在)

商号	株式会社プレナス (英文名 PLENUS Co., Ltd.)
創業	1960年3月
設立	1976年11月
資本金	34億61百万円
福岡本社	福岡県福岡市博多区上牟田一丁目19番21号
東京本社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号
従業員数	1,417名 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は6,856名(1日8時間換算)であります。

■ 株式の状況 (2016年8月31日現在)

発行可能株式総数	92,568千株
発行済株式の総数	44,392千株
株主総数	44,127名

株式数分布状況



所有者別株式数分布状況	株式数(千株)	構成比率(%)
個人・その他	25,453	57.3
金融機関	8,252	18.6
その他国内法人	7,464	16.8
外国法人等	3,037	6.8
証券会社	184	0.4

*個人・その他には、自己名義株式6,103千株(13.8%)を含んでおります。

■ グループ会社 (2016年8月31日現在)

【国内】(子会社)	(株)プレナス・エムケイ
	(株)プレナスフーズ
	(株)プレナスワークサービス
(関連会社)	(株)九州トーヨー
	(株)フーディフレーバー
【海外】(子会社)	北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)
	PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)
	臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)
	Plenus, Inc.(米国)
	Plenus Global Pte. Ltd.(シンガポール)
	BayPOS, Inc.(米国)
(関連会社)	PLENUS & MK PTE. LTD.(シンガポール)
	YK Food Service Co., Ltd.(韓国)

■ 役員 (2016年8月31日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	塩井 辰男
常務取締役 常務執行役員	大楠 泰弘
常務取締役 常務執行役員	田淵 豪
常務取締役 常務執行役員	金子 史朗
取締役 上席執行役員	鈴木 博
取締役 上席執行役員	立花 英信
取締役 上席執行役員	布山 稔
社外取締役	長沼孝一郎
取締役 監査等委員	高橋 勉
社外取締役 監査等委員	礪山 誠二
社外取締役 監査等委員	吉戒 孝
執行役員	一條 眞理
執行役員	田中 信
執行役員	森安 秀範
執行役員	香月 英樹
執行役員	山内ズル
執行役員	漆 新吾
執行役員	小森 剛
執行役員	添島 修
執行役員	嶋田 哲

株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。(当社ホームページに掲載。)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-288-324

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き(住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問合せください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎ 0120-288-324

※未払い配当金について

未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

株主優待制度について

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ国内店舗で使用可能な株主様限定の『株主お買物優待券』を贈呈いたします。(年1回)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	500円『株主お買物優待券』5枚
1,000株以上	500円『株主お買物優待券』10枚

(3) 贈呈の時期

5月下旬にご送付いたします。



株主お買物優待券見本

当社の株主優待制度は、「ほっともつ」「やよい軒」「MKレストラン」で『株主お買物優待券』をご利用いただける制度です。

当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ先

株式会社プレナス 会計本部 経営管理室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号 日本橋弥生ビルディング TEL.03-6892-0304

ホームページアドレス <http://www.plenus.co.jp/>